



TITLE:

<雑録> 歸って來た北京圖書館の善本

AUTHOR(S):

日比野, 丈夫

CITATION:

日比野, 丈夫. <雑録> 歸って來た北京圖書館の善本. 東洋史研究 1942, 7(6): 417-417

ISSUE DATE:

1942-12-31

URL:

<https://doi.org/10.14989/138853>

RIGHT:

歸つて來た北京圖書館の善本

先達て十月の末のこと、北京で久しぶりに、傳芸子さんにお會ひした際、事變勃發の直前ひそかに南方へ運び出された何百箱の善本の一部が、今度幸ひにも古巢へ戻つて來るといふ話を伺つた。丁度その時はまだ上海から運送中で、到着するのはいづれ十一月に入つてからのことであつたから、残念ながら見て歸ることが出來なかつた。目録もまだ到着してゐないが、地誌なども多く、中にはたゞ一冊ながら永樂大典もあるときいた。その後、在北京の今堀誠二君から次のやうなお便りをいたしたので備忘の爲めに記しておく。(日比野)

北京圖書館の善本は毎日あけてゐます。今日迄に四十五箱しか濟んでゐません。百三十六ありますから今月中かゝりませう。大體善本乙及び乙續ですが、歴史關係は多く賦役全書なども大體あります。